

歴史・伝統文化 —— 伝統を重んじ伝統文化を継承する

伝統文化の保存に努めるとともに、子どもたちや若者に優れた舞台芸術等の鑑賞や多様な体験活動機会を創出し、芸術文化の担い手の育成を図っています。また、文化関係団体や指導者の育成を支援し、伝統芸能の継承・発展に努めています。さらに、市内外への交流活動等を推進し、伝統文化による友好の輪を広げています。



①



②



③

■ 大綱引き (①真志喜、②宜野湾、③大山、)

五穀豊穡を願い、毎年旧暦6月に大山・真志喜で行われ、また宜野湾でも復活。綱引きの前哨戦として行われる「アギーエ(綱を高く上げ、その高さを競う)」は他の地域と異なる大きな特徴である。



■ 青年エイサー

旧盆には、各区の青年達によるエイサーが披露され、各区のそれぞれの中心地を巡り歩く「道ジュネー」などが行われる。また、年に一度、市内青年会による青年エイサー祭りも開催される。



■ 獅子舞 (大謝名、普天間)

普天間と大謝名において、旧暦7月・8月十五夜などに獅子舞が披露され、住民の家内安全や子孫繁栄を祈願する。大謝名・普天間ともに市指定無形民俗文化財。



■ 我如古スンサーミー

旧暦の3月3日の後日に行われ、豊年と子孫繁栄を祈願する女性の踊り。市指定無形民俗文化財。



■ マールアシビ (野嵩・新城)

稲の収穫を神に感謝するための奉納芸能であるムラアシビ。現在は、野嵩(子年・午年の6年周期)・新城(寅年・申年の6年周期)で行われている。